

第5回国家宇宙会議(2019年3月26日)

○ペンス副大統領が、「米国人宇宙飛行士を5年以内に月に戻す」とNASA長官に指示。

「月に降り立つ最初の女性及び次の男性は、米国の地から、米国製ロケットで打ち上げられた米国人となる。」



(出典) NASA HP

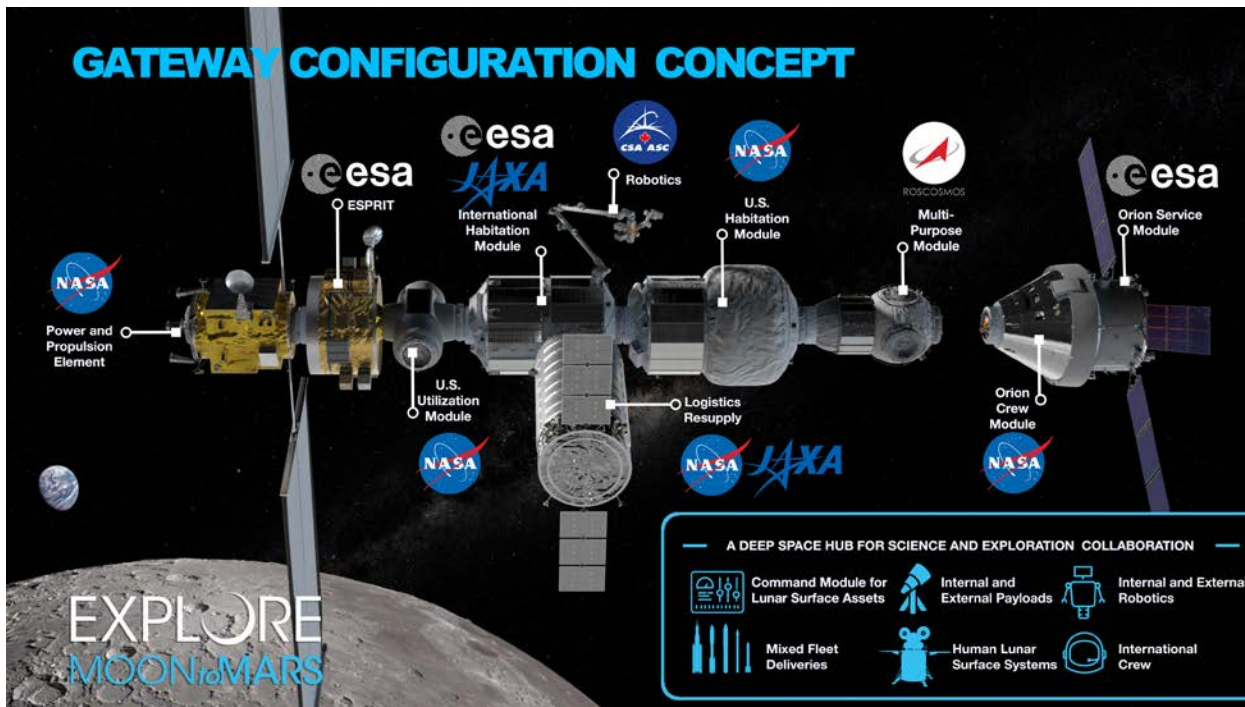
・ 2024年までの有人月着陸を目指す この発表は、これまでのNASAの計画を4年前倒しするもの。

- ・ And I'm here, on the President's behalf, to tell the men and women of the Marshall Space Flight Center and the American people that, at the direction of the President of the United States, it is the stated policy of this administration and the United States of America to return American astronauts to the Moon within the next five years.
- ・ The first woman and the next man on the Moon will both be American astronauts, launched by American rockets, from American soil.
- ・ The President has directed NASA and Administrator Jim Bridenstine to accomplish this goal by any means necessary.

○ブライデNSTAIN NASA長官は、「期限内にそのビジョンを実現するためにあらゆる策を講じることを約束する。」と応答。

月探査に関するブライデンスタインNASA長官スピーチ(於:4月9日 Space Symposium)

- ・ SLSロケット、Orion宇宙船、ゲートウェイを用いた全体計画は変わらず、一部修正に留まる。
- ・ フェーズ1として、スピードをもって月有人着陸を目指す。
- ・ その後、フェーズ2として、2028年までに長期的・持続的な宇宙探査のためアーキテクチャを持つことに注力。
- ・ 議会に予算増を要望する。
- ・ 国際パートナーの協力も得られると嬉しい。



(出典) JAXA HP

(注) 副大統領の指示を受け、今後Gateway構想の個々の取組内容のプライオリティが見直される可能性。